

主 題：
ノア、ダニエル、ヨブ一命の路線において勝利を得る生活をして
神のエコノミーを成就する模範

メッセージ 4
ヨブと二本の木
メッセージ 5

ヨブに対する神の意図——良い人が神・人となること

ヨブ記は著者ヨブにちなんで名づけられ、その名は「憎まれる」、あるいは「迫害される」を意味します。これは、ヨブが神の敵であるサタンに苦しめられたことを表徴します。ヨブは確かにサタンに憎まれ、迫害されました。

ヨブの遊牧生活の方法(一・三)と、彼が自分の子供たちのために全焼のささげ物をささげた方法によれば、本書はアブラハム、イサク、ヤコブの時代(五節、創二二・十三、三一・五四)、紀元前二千年ごろに書かれたはずで、これは、ヨブ記はモーセが五書を書いた時より五百年前に書かれたことを意味します。

ヨブ記は、第一章、第二章、第四二章七節から十七節を除いて詩の形になっています。ヨブ記は、聖書にある五冊の詩歌の最初のもので、他の四冊は、詩篇、箴言、伝道の書、雅歌です。

ヨブ記の内容は、ヨブと彼の三人の友人(エリパズ、ビルダテ、ゾパル)と青年エリフを含む敬虔な人たちの情緒の表現です。本書は、これらの五人の語りかけ、プラス神の語りかけの記録です。

これらの敬虔な人たちの情緒の表現は、神の行政上の裁きに関連しています。ヨブと彼の三人の友人たちとの論争は、おもに神の裁きに関してでした。彼らは、ヨブは何かにおいて間違っていたに違いない、そして彼に起こった事柄は神の裁きであったと論じました。また彼らはヨブの子供たちも間違っていたので、神に裁かれて死んだと思ったかもしれません。ですから、本書の内容は神の裁きの事柄も含んでいるのです。

ヨブと彼の友人は、神聖な真理について不十分な啓示しか持っていませんでした。敬虔な人として、彼らは自分たちが受けている啓示の範囲内で情緒を表現しました。

ヨブ記の主題は、神が彼の聖なる者を取り扱われる目的です。ヨブ記は、聖徒たちの苦難の目的、すなわち、神がご自身の民を取り扱われる目的に関する敬虔な人たちの論争の書です。ヨブ記はそのような古代の書ですから、この中には、神がご自身の民を取り扱われる目的に関する啓示がはっきりしていません。この啓示はヨブに与えられていません。それはパウロに与えられました。パウロの書簡の中で、神がわたしたちを取り扱われる目的は、わたしたちからすべてのものはぎ取って、わたしたちが神をさらに多く得るためであることを見ます。これがヨブ記の主題です。

回復訳聖書のアウトライン

I. 序言—1:1—2:10

- A. ヨブという人—1:1-5 節
- B. 天で行なわれたヨブについての協議—1:6-12 前半
- C. サタンはヨブを攻撃し、ヨブは自分の所有物と子供のことで試練を受ける—1:12 後半-22
- D. 再び天で行なわれたヨブについての協議—2:1-6
- E. サタンはヨブを攻撃し、ヨブは自分の体に試練を受ける—2:7-10

II. ヨブと彼の三人の友との間の弁論—2:11—32:1

III. エリフがヨブに答える—32:2—37:24

IV. 神とヨブとの間の対話—38:1—42:6

V. エホバはヨブの三人の友を対処する—42:7-9

VI. ヨブの終局—42:10-17

メッセージ 4 ヨブと二本の木

アダムと二本の木

創 2:8 そして、エホバ・神は東のほうのエデンに園を植えられた。そして彼は**形づくった人**をそこに置かれた。
創 2:9 エホバ・神はその土地から、見て喜ばしく、食べるのに良い、すべての木を生えさせ、さらに園の中央に**命の木**と、**善悪知識の木**を生えさせられた。

ヨブと二本の木

ヨブ 1:1 ウズの地に**ヨブ**という名の人があった。この人は**完全に正しく、神を畏れ、悪から遠ざかっていた**。
ヨブ 1:8 **エホバ**はサタンに言われた、「おまえはわたしのしもべヨブを心にとめたか？まことに、地上で彼のような者はいない。彼は完全に正しく、神を畏れ、悪から遠ざかっている」。
ヨブ 1:9 すると、**サタン**はエホバに答えて言った、「ヨブは理由もなく神を畏れるでしょうか？」**(商業的原則)**
ヨブ 2:3 **エホバ**はサタンに言われた、「おまえはわたしのしもべヨブを心にとめたか？まことに、地上で彼のような者はいない。彼は完全に正しく、神を畏れ、悪から遠ざかっている。おまえは彼に対してわたしを動かし、理由もなく彼を滅ぼそうとしたが、なおも彼は自分の高潔さを堅く保っている」。

ヨブの友人は善悪知識の路線にいる

ヨブ 2:11 **ヨブの三人の友**は、このすべての不幸が彼に臨んだのを聞き、それぞれ自分の所から来た。それはテマン人エリパズとシュヒ人ビルダデとナアマ人ゾパルである。彼らは共に約束し、来て彼をいたわり慰めようとした。
ヨブ 4:7 さあ、思い出してみよ、罪がないのに、だれか滅びたことがあるか？正しい者が断ち切られたことがどこにあるか？
ヨブ 4:8 わたしが見てきたことによれば、罪科を耕す者、また困難をまく者は、同じものを刈り取っている。

メッセージ4		ヨブと二本の木	
I	神聖な啓示の中にある、二本の木、二つの源、二つの道、二つの原則、二つの終局の完成		
II	神の意図、命の木の路線にあるヨブを得ることで	A-C	ヨブと彼の友人は善悪知識の路線にいました
		D	神がヨブを対処する意図は、彼を善悪の道から命の道に転向させること
III	わたしたちは命の木のビジョンを必要とします	A-C	神はキリストの中でわたしたちの食物となります
		D-E	ヨハネ福音書と啓示録において命の木を享受する
IV	命の木の路線上の生活	A-B	神の領域にあるものを追い求める
		C-D	命を与える霊の領域で、絶対的に彼と一となる

神聖な啓示の中にある、二本の木、二つの源、二つの道、二つの原則、二つの終局の完成

I. 神聖な啓示において、二本の木、二つの源、二つの道、二つの原則、二つの終局があります：

A. 二本の木：

1. **命の木**が表徴しているのは、人と神の関係における、人にとって**命である三一の神**です——創 2:9。詩 36:9 前半。
創 2:9 エホバ・神はその土地から、見て喜ばしく、食べるのに良い、すべての木を生えさせ、さらに園の中央に**命の木**と、**善悪知識の木**を生えさせられた。
詩 36:9 あなたと共に、命の源泉があり、あなたの光の中で、わたしたちは光を見るのです。
2. **善悪知識の木**が表徴しているのは、神の御前で人の**墮落**における、人にとって死である**悪魔サタン**、**邪悪な者**です——創 2:17。
創 2:17 ただし、善悪知識の木からは、食べてはならない。それから食べる日に、あなたは必ず死ぬ」。

B. 二つの源：

1. **命の木**は、命としての神を追い求めて供給と享受を得る人の**源**です——ヨハネ 1:4、15:1。
ヨハネ 1:4 彼の中に命があった。この命は人の光であった。
ヨハネ 15:1 「わたしはまことのぶどうの木であり、わたしの父は栽培者である。

2. 善悪知識の木は、毒としてのサタンに従って死と永遠の滅びへと至る人の源です——8:44。
 ヨハネ 8:44 あなたがたは自分たちの父、悪魔から出たのであり、自分の父の欲望を行なうことを願っている。悪魔は初めから人殺しであって、真理に立っていない。なぜなら、彼の中に真理はないからである。彼はうそをつく時、自分の持っているものから語る。彼はうそつきであり、うそつきの父だからである。
3. この二つの源の結果は二つの王国、すなわち神の王国とサタンの王国です——マタイ 21:43、12:26。コロサイ 1:13。
 マタイ 21:43 だから、わたしはあなたがたに言う、神の王国はあなたがたから取り上げられて、実を結ぶ国民に与えられる。
 マタイ 12:26 もし、サタンがサタンを追い出すとしたら、彼は自ら分かち争うのである。それではどうして、彼の王国は立ち行くだろう？
 コロ 1:13 御父はわたしたちを暗やみの権威から救い出して、彼の愛する御子の王国に移してくださいました。

C. 二つの道:

1. 第一の道は、命の道、すなわち狭められている道であり、人に神を追い求めさせ、神を獲得させ、永遠の命における神を供給として享受させます——マタイ 7:14、使徒 9:2、16:17、18:25-26、II ペテロ 2:15、21。
 マタイ 7:14 命に至る門は狭く、その道は狭められているので、それを見いだす者は少ない。
 使徒 9:2 彼からダマスコの諸会堂あての手紙を求めた。それは、この「道」の者であるとわかったなら、男でも女でも縛り上げて、エルサレムへ引いて行くためであった。
 使徒 16:17 この女はパウロとわたしたちについて来て、叫んで言った、「この人たちはいと高き神の奴隷であって、救いの道をあなたがたに宣べ伝えているのです」。
2. 第二の道は、死と善悪の道、すなわち幅広い道であり、人をサタンに従わせ、サタンの子供たちとならせます——マタイ 7:13、I ヨハネ 3:10 前半。
 マタイ 7:13 あなたがたは、狭い門から入りなさい。崩壊に至る門は広く、その道は幅広い。そして、そこから入って行く者が多い。

D. 二つの原則:

1. 第一の原則は、命の原則、すなわち神に依存する原則です——ヨハネ 15:5、創 4:4。
 ヨハネ 15:5 わたしはぶどうの木であり、あなたがたはその枝である。人がわたしの中に住んでおり、わたしもその人の中に住んでいるなら、その人は多くの実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからである。
 創 4:4 また、アベルも彼の羊の群れの初子から、すなわち、その脂肪の部分からささげ物を持って来た。エホバは、アベルと彼のささげ物に目をとめられた。
2. 第二の原則は、死と善悪の原則、すなわち神から独立する原則です——エレミヤ 17:5-6、創 4:3。
 エレ 17:5 エホバはこう言われる、「人に信頼し、肉を自分の腕とし、心がエホバから離れている者はのろわれる。」
 エレ 17:6 彼は砂漠の灌木のようになり、良いことが来るのを見ない。むしろ彼は、荒野の干上がった所、住む者のない塩地に住む。
 創 4:3 ある時期になって、カインは、土地の実りの中からエホバへのささげ物を持って来た。

E. 二つの終局は、人が神との関係で取る二つの道の最終結果です:

1. 神の命の道の終局は、命の水の都、すなわち新エルサレムです——啓 21:2、10-11、22:1-2。
 2. 死と善悪の道の終局は、火の池です——19:20、20:10、14-15、21:8。
 啓 21:2 わたしはまた聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように整えられて、天から出て神から下って来るのを見た。
 啓 19:20 そして獣は捕らえられた。また彼の前でしるしを行ない、それによって、獣の印を受けた者や彼の像を拝んだ者を欺いた偽預言者も、捕らえられた。この二人は生きたまま、硫黄で燃える火の池の中へと投げ込まれた。

神の意図、目的は、命の木の路線にあるヨブを得ることです

II. 神の意図は、善悪知識の木の路線にあるヨブを得ることではなく、命の木の路線にあるヨブを得ることでした:

A-C:ヨブと彼の友人は善悪知識の路線にいました

- A. ヨブと彼の友の論理は、善悪知識の木の路線にしたがっていましたが——ヨブ 2:11—32:1。
 B. ヨブは彼の友のように、正しいか間違っているかの知識にとどまっておらず、神のエコノミーを知りませんでした——4:7-8。
 ヨブ 2:11 ヨブの三人の友は、このすべての不幸が彼に臨んだのを聞き、それぞれ自分の所から来た。それはテマン人エリパズとシュヒ人ビルダドとナアマ人ゾバルである。彼らは共に約束し、来て彼をいたわり慰めようとした。
 ヨブ 4:7 さあ、思い出してみよ、罪がないのに、だれか滅びたことがあるか？正しい者が断ち切られたことがどこにある

か？

ヨブ 4:8 わたしが見てきたことによれば、罪科を耕す者、また困難をまく者は、同じものを刈り取っている。

C. ヨブと彼の友は、善悪知識の木の領域にいました。神は彼らをこの領域から救い出して、命の木の領域の中へと入れようとしていました——1:1. 2:3. 19:10。

ヨブ 1:1 ウヅの地にヨブという名の人がいた。この人は完全に正しく、神を畏れ、悪から遠ざかっていた。

ヨブ 2:3 エホバはサタンに言われた、「おまえはわたしのしもべヨブを心にとめたか？ まことに、地上で彼のような者はいない。彼は完全に正しく、神を畏れ、悪から遠ざかっている。おまえは彼に対してわたしを動かし、理由もなく彼を滅ぼそうとしたが、なおも彼は自分の高潔さを堅く保っている。

ヨブ 19:10 彼が四方からわたしを砕かれたので、わたしは去って行く。わたしの望みは木のように引き抜かれる。

D: 神がヨブを対処する意図は、ヨブを善悪の道から命の道に転向させることでした

D. ヨブを対処することでの神の目的は、ヨブを善悪の道から命の道に転向させることでした。それは、ヨブが最も満ち満ちた程度にまで神を獲得するためでした——42:1-6。

ヨブ 42:4 どうか、聞いてください、わたしは語ります。あなたにお尋ねします。あなたがわたしに示してください。

ヨブ 42:5 わたしはあなたのことを耳にしていました。しかし今、わたしの目はあなたを見ています。

ヨブ 42:6 それゆえ、わたしは自分を忌み嫌い、ちりと灰の中で悔い改めます。

42:17 のフットノート

ヨブ記の四十二の章は、わたしたちに重要な問題を残します。この問題には二つの部分があります。①すなわち、神が人を創造した目的は何であり、②神が彼の選びの民を対処する目的は何でしょうか？ この質問に答えるには全聖書が必要となります。特に、新約はヨブ記における質問への長い答えです。この答えは、神の大いなる喜びにしたがった神の永遠のエコノミーであり、それはご自身を彼の神聖な三一において(父において、子において、霊において)、彼の肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天を通して、その霊の注ぎ出しを伴って、彼の選ばれ贖われた人の中へと分与し、彼らをすべて、神格においてではなく命と性質において彼であるのと同じにし、彼らを彼の複製として、彼らが彼を表現することです。そのような神聖な分与の結果は、キリストのからだとしての、新しい人としての、三一の神の有機体としての召会です。この有機体は新エルサレムにおいて究極的に完成します。それは完全に究極的に完成された神の肉体と成ることの拡大、増し加わり、すなわち、三一の神の豊満であり(エペソ 3:19)、彼は人性とミングリングされた彼の神性の中で団体的にご自身を表現して、永遠に至ります。これは新約における神聖な啓示であり、ヨブの苦難に対する答え、また神が人を創造し、彼の選びの民を対処することでの目的に関する大きな問題への答えです。

ヨブ記における「質問」	
サタンの質問	1:9 サタンはエホバに答えて言った、「ヨブは理由もなく神を畏れるでしょうか？」
ヨブの質問	3:11 なぜ、わたしは誕生の時に死なず、胎から出て来て息絶えることがなかったのか？ 10:18 なぜ、あなたはわたしを胎から出されたのですか？
ヨブの質問	9:2 しかし、人はどうして神の御前に義しくあり得ようか？
ゾパルの質問	11:7 あなたは神の深みを見いだすことができるだろうか？全能者の極限を見いだすことができるだろうか？
ヨブの質問	14:10 人は息絶えるなら、どこにいるのか？
エリパズの質問	22:2 ただ自分自身に益になるだけだ。
神の質問	38:2 知識のない言葉によって、助言を暗くするこの者はだれか？

わたしたちは命の木のビジョンを必要とします

Ⅲ. わたしたちは命の木のビジョン、すなわち、神がキリストの中でわたしたちの食物であることのビジョンを必要とします——創 2:9. 啓 22:1-2, 14:

A-C: 神はキリストの中でわたしたちの食物となります

A. 命の木が表徴しているのは、三一の神がキリストの中でご自身を、食物の形で彼の選ばれた人の中へと命として分与することです——創 2:9。

B. 命の木は宇宙の中心です:

1. 神の目的によれば、地は宇宙の中心であり、エデンの園は地の中心であり、命の木はエデンの園の中心です。ですから、宇宙は命の木を中心としています。
 2. 神と人にとって、命の木よりも中心的で重要なものではありません——3:22. 啓 22:14。
- C. 新約は、キリストが命の木のしるしの成就であることを啓示しています——ヨハネ 1:4. 15:5。

D-E: ヨハネ福音書と啓示録において命の木を享受する

- D. ヨハネによる福音書が啓示しているすべてを含むキリストのすべての面は、命の木の結果です——6:48. 8:12. 10:11. 11:25. 14:6。
- E. 命の木を享受することは、神の贖われた民すべての永遠の分け前となります——啓 22:1-2, 14:
1. 命の木は、神が初めから人に対して意図したことを永遠にわたって成就します——創 1:26. 2:9。
 2. 命の木の実は、永遠において神の贖われた者の食物となります。これらの実は絶えず新鮮であり、毎月みのります——啓 22:2。

命の木の路線上の生活

IV. わたしたちが再生されたとき、キリストはご自身を命の木としてわたしたちの中へと植えました——ヨハネ 1:12-13. 3:3, 5-6, 15. 11:25. 15:1, 5:

A-B: 神の領域にあるものを追い求める

- A. わたしたちは実際の生活において、命の木の路線におらず、善悪知識の木の路線にいるかもしれません——箴 16:25. 21:2。
- B. ヨブは、倫理の領域にあるものを追い求めていましたが、わたしたちキリストにある信者は、神の領域にあるものを追い求めるべきです——I コリント 15:28. エペソ 3:16-21。

C-D: 命を与える霊の領域で、絶対的に彼と一となる

- C. わたしたちは日常生活において、善悪知識の木の領域に**いるべきではなく、命を与える霊の領域に**いるべきです——I コリント 15:45 後半. ローマ 8:2。
- D. 神の意図は、わたしたちを取り壊し、わたしたちの命と性質としてのご自身をもってわたしたちを再建して、わたしたちが**絶対的に彼と一である人となる**ようにすることです——II コリント 1:9. 4:14。

ヨブに対する神の意図——良い人が神・人となること

聖書：ヨブ 1:1, 8, 2:3, 9, 27:5, 31:6, 42:5-6

主題と重要な御言葉	
大いなる質問の 大いなる答え	ヨブ 10:13 しかし、あなたはこれらの事を、 あなたの心に秘めておられました 。わたしは、これがあなたと共にあるのを知っています。 エペソ 3:9 それはまた、万物を創造された神の中に、 各時代にわたって隠されてきた奥義のエコノミー[経綸] が何であるかを、すべての人を照らして明らかにするためであり、
神・人となる	ヨブ 4:25 わたしはあなたのことを耳にしていました。しかし今、 わたしの目はあなたを見ています 。 ヨブ 42:6 それゆえ、 わたしは自分を忌み嫌い 、ちりと灰の中で悔い改めます」。 (見る⇒神を得る)

ヨブに対する神の意図——良い人が神・人となること		
I	神のヨブに対する意図は、わたしたちの生活を支配する原則であるべきです	
II	ヨブは良い人であり	A-C ヨブは完全に正しく、神を畏れ、悪から遠ざかっていた
		D ヨブに必要な、すなわち彼が内側に神を持っていなかった
III	神の意図は、ヨブが神・人となることです	A 神はヨブを別の領域、すなわち神の領域の中へもたらして、神を獲得させるようにしました
		B-C 神はヨブを消耗させ、剥ぎ取り、取り壊し、更新されたヨブを建て上げます
		D-E 神はヨブを神の人とならせ、神・人とならせ神を表現させます
IV	神と人は共にミングリングされ神・人となる	A-E 神・人の意義
		F-I 神・人の経験

(朝ごとの食物第5週) ヨブに対する神の意図——良い人が神・人となること			
日	段落流れ	主題	要点
1	神の意図	神のヨブに対する意図は、わたしたちの生活を支配する原則であるべきです	神のヨブに対する意図 わたしたちの生活を支配する原則
2	ヨブは良い人です	ヨブは良い人であることと、ヨブの必要	ヨブは良い人でした ヨブには必要があった
3	ヨブが神・人となる	ヨブを間違った領域から神の王国の領域へもたらす	ヨブは間違った領域で自己の高潔さを建て上げました 神の王国の領域へもたらし神を獲得させる
4		ヨブを取り壊すことは、神がご自身を用いてヨブを再建し神・人とします	神はヨブを消耗させ、剥ぎ取り、取り壊しました 再建されたヨブは神の人となり神を表現する
5		神・人の構成と意義	神から生まれ神で構成される 神の子供であり、新創造です
6		神・人の経験と生活	神人は主を愛し、霊を活用し、神の言葉を持つ 神人は、自分が団体的神の一部分であることを認識している

神のヨブに対する意図は、わたしたちの生活を支配する原則であるべきです

I. 聖書の六十六巻はただ一つの事のためです。それは、神がキリストの中でその霊としてご自身をわたしたちの中へと分与して、わたしたちの命、性質、すべてとなり、わたしたちがキリストを生き、キリストを表現するということです——エペソ 3:16-17 前半、ピリピ 1:21 前半：

エペソ 3:16 どうか御父が、彼の栄光の豊富にしたがい、力をもって、彼の霊を通して、あなたがたを内なる人の中へと増強してくださいますように。

エペソ 3:17 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。
またあなたがたが、愛の中に根ざし土台づけられ、

ピリピ 1:21 なぜなら、わたしにとって生きることはキリストであり、死ぬことは益であるからです。

A. これはわたしたちの生活を支配する原則であるべきです——ヨハネ 6:57。

ヨハネ 6:57 生ける父がわたしを遣わされ、わたしが父のゆえに生きているように、わたしを食べる者も、わたしのゆえに生きる。

B. 実行上、これはわたしたちの享受のための、今日の命の木となるべきです——啓 22:14。

啓 22:14 自分の衣服を洗う者たちは幸いである。彼らは命の木への権利を持ち、門を通して都の中へと入ることができる。

ヨブは良い人であること、そしてヨブの必要

II. ヨブは良い人であり、自分自身の完全さ、正しさ、高潔さを表現しました——ヨブ 27:5. 31:6. 32:1:

ヨブ 27:5 あなたがたを義と告げることは、わたしには絶対にできない！ わたしは死ぬまで、自分の高潔さを自分から離さない。

ヨブ 31:6(彼に義なる量りでわたしを量っていただきたい。神にわたしの高潔さを知っていただきたい)、

ヨブ 32:1 そこで、これら三人の人たちは、ヨブに答えるのをやめた。それは、彼が自分の目に自分を義しい者としたからである。

A-C: ヨブは完全で正しく、神を畏れ、悪から遠ざかっていた

A. 完全であることは、内なる人と関係があり、正しいことは、外なる人と関係があります——1:1。

ヨブ 1:1 ウツの地にヨブという名の人がいた。この人は完全で正しく、神を畏れ、悪から遠ざかっていた。

B. ヨブは高潔な人でした。高潔さは、完全であることと正しいことの総合計です——2:3, 9. 27:5. 31:6:

ヨブ 2:3 エホバはサタンに言われた、「おまえはわたしのしもべヨブを心にどめたか？ まことに、地上で彼のような者はいない。彼は完全で正しく、神を畏れ、悪から遠ざかっている。おまえは彼に対してわたしを動かし、理由もなく彼を滅ぼそうとしたが、なおも彼は自分の高潔さを堅く保っている。」

ヨブ 2:9 すると、彼の妻は彼に言った、「あなたはまだ自分の高潔さを堅く保っているのですか？ 神をのろって死になさい」。

ヨブ 27:5 あなたがたを義と告げることは、わたしには絶対にできない！ わたしは死ぬまで、自分の高潔さを自分から離さない。

ヨブ 31:6(彼に義なる量りでわたしを量っていただきたい。神にわたしの高潔さを知っていただきたい)、

1. ヨブに関して、高潔さは彼が何であったかの総合的な表現です。
2. 性格においてヨブは完全で正しく、倫理において彼は高い水準の高潔さを持っていました。

C. ヨブは積極面で神を畏れ、消極面で悪から遠ざかっていました——1:1:

1. 神が人を創造したのは、単に人が神を畏れ、何の間違った事も行なわないためだけではありませんでした。むしろ、神が人をご自身のかたちに、ご自身の姿にしたがって創造したのは、人が神を表現するためでした——創 1:26。

創 1:26 それから、神は言われた、「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう。そして彼らに、海の魚と空の鳥と家畜と全地と地を這うすべての這うものを治めさせよう」。

2. 神を表現することは、神を畏れ悪から遠ざかることよりも高いのです。
3. ヨブが彼の完全さ、正しさ、高潔さにおいて到達したものは、完全に空虚でした。それは神の定められた御旨を完成せず、神の願いを満足させませんでした。こうして、神はヨブに愛の関心を持ちました——ヨブ 1:6-8. 2:1-3。

D: ヨブに必要ながある、すなわち彼が内側に神を持っていなかった

D. 神だけが、ヨブに必要ながあること、すなわち彼が内側に神を持っていなかったことを知っていました。ですから、神はヨブが神を獲得し、神を表現して、神の定められた御旨を成就することを願いました——42:5-6。

ヨブ 42:5 わたしはあなたのことを耳にしていました。しかし今、わたしの目はあなたを見ています。

ヨブ 42:6 それゆえ、わたしは自分を忌み嫌い、ちりと灰の中で悔い改めます」。

神の意図は、ヨブが神・人となることです

Ⅲ. 神の意図は、ヨブが神・人となり、神の属性において神を表現することでした——ヨブ 22:24-25. 38:1-3:

ヨブ 22:24 あなたの金塊をちりの中に置き、オフルの金を川の石の中に置くなら、
ヨブ 22:25 全能者はあなたの金塊となり、尊い銀はあなたのものとなる。
ヨブ 38:1 その時、エホバは、つむじ風の中からヨブに答えて言われた、
ヨブ 38:2 「知識のない言葉によって、助言を暗くするこの者はだれか？
ヨブ 38:3 さあ、あなたは勇士のように腰に帯を締めよ。わたしはあなたに尋ねるので、あなたはわたしに示しなさい。

A: 神はヨブを別の領域、すなわち神の領域の中へともたらし、神を獲得させるようにしました

A. 神はヨブを別の領域、すなわち神の領域の中へともたらし、ヨブに自分の完全さ、正しさ、高潔さにおいて到達したものを獲得させるのではなく、神を獲得させるようにしました—42:5-6。

B-C: 神はヨブを消耗させ、剥ぎ取り、取り壊し、更新されたヨブを建て上げます

ヨブ 42:5 わたしはあなたのことを耳にしていました。しかし今、わたしの目はあなたを見ています。
ヨブ 42:6 それゆえ、わたしは自分を忌み嫌い、ちりと灰の中で悔い改めます」。

B. ヨブに対する神の意図は、彼を消耗させ、彼の最高水準の倫理において、彼の到達し成就した完全さと正しさをはぎ取ることでした——31:6。

ヨブ 31:6 (彼に義なる量りでわたしを量っていただきたい。神にわたしの高潔さを知っていただきたい)、

C. 神の意図は、完全さと正しさにおける天然のヨブを取り壊し、神の性質と属性において更新されたヨブを神が建て上げることでした——1:6-8. 2:3-6。

D-E: 神はヨブを神の人とならせ、神・人とならせ神を表現させます

D. 神の意図は、ヨブを神の人とならせ、神の具体化であるキリストで満たし、神の豊満とならせて、キリストの中で神を表現させることでした——Ⅰテモテ 6:11. Ⅱテモテ 3:17。

Ⅰテモ 6:11 しかし、神の人よ、あなたはこれらの事柄から逃れなさい。そして義、敬虔、信仰、愛、忍耐、柔和を追い求めなさい。

Ⅱテモ 3:17 それは、神の人があらゆる良いわざのために十分に装備されて、完全な者になるためです。

E. 神のはぎ取ることと消耗させることはヨブの上で行使されて、ヨブを取り壊しました。それは、神が基礎と道を得て、神ご自身をもって彼を再建し、彼を神・人とならせて、神格においてではなく命と性質において神と同じにし、神を表現させるためでした——エペソ 3:16-21

エペソ 3:16 どうか御父が、彼の栄光の豊富にしたがい、力をもって、彼の霊を通して、あなたがたを内なる人の中へと増強してくださいますように。

エペソ 3:17 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができまうように。またあなたがたが、愛の中に根ざし土台づけられ、

エペソ 3:18 力に満たされて、すべての聖徒たちと共に、その広さ、長さ、高さ、深さが何であるかを会得し、

エペソ 3:19 そして、知識を超越したキリストの愛を知ることができるように。また、あなたがたが満たされて、神の全豊満へと至るように。

エペソ 3:20 しかしまた、わたしたちの中で活動するその力にしたがって、わたしたちが求め、また思うすべてを、はるかに超えて豊かに行なうことのできる方、

エペソ 3:21 神に、召会の中で、またキリスト・イエスの中で、栄光がすべての世代に至るまで、永遠にわたってありますように。アーメン。

神人の構成と意義

神と人は共にミングリングされ神・人となる

IV. 神はキリストの中で、人の中へと構成され、人は神の中へと構成され、神と人は共にミングリングされて一つの実体となりました。それは神・人と呼ばれています——マタイ 1:21, 23. ルカ 1:35. テトス 2:13. I テモテ 2:5:

マタイ 1:21 彼女は男の子を産みます。あなたは彼の名をイエスと呼びなさい。彼は自分の民を、彼らの罪から救うからです。

マタイ 1:23 「見よ、処女が身ごもって男の子を産む。人々は彼の名をインマヌエルと呼ぶ」(インマヌエルは、神われらと共にいますと訳される)。

ルカ 1:35 御使いは彼女に答えて言った、「聖霊があなたに臨み、いと高き方の力があなたを覆うでしょう。それゆえ、生まれる聖なるものは、神の子と呼ばれます。

テトス 2:13 祝福された望み、すなわち、わたしたちの大いなる神また救い主、イエス・キリストの栄光の出現を待ち望むようにさせています。

I テモ 2:5 なぜなら、ひとりの神がおられ、また神と人との間にひとりの仲保者、すなわち人なるキリスト・イエスが
おられるからです。

A-E: 神・人の意義

A. 多くの神・人たち、神の多くの子たちは、第一の神・人であるキリストの増し加わり、複製、複写、継続です——ヨハネ 12:24. ヘブル 2:10. ローマ 8:29。

ヨハネ 12:24 まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一粒のままである。しかし、それが死んだなら、多くの実を結ぶ。

ヘブル 2:10 万物がその方のために存在し、万物がその方を通して存在する方が、多くの子たちを栄光へ導き入れるのに、彼らの救いの創始者を、苦難を通して成就されるのは、彼にふさわしいことでした。

ローマ 8:29 なぜなら、神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの間で長子となるためです。

B. 神・人は、神の命と性質にあずかる者であり、こうして神の命と性質において神と一になり、神を表現します——ヨハネ 3:15. II ペテロ 1:4. I コリント 6:17。

ヨハネ 3:15 それは、彼の中へと信じる者がすべて、永遠の命を持つためである」。

II ペテ 1:4 彼はその栄光と美德を通して、尊く、際立って偉大な約束を、わたしたちにすでに与えてくださっています。それは、これらの約束を通して、あなたがたが情欲によるこの世の腐敗から逃れて、神聖な性質にあずかる者となるためです。

I コリ 6:17 しかし、主に結合される者は、主と一つ霊になります。

C. 神・人は、神から生まれて神の子供となり、神の命と性質を持っています——ヨハネ 1:12-13. 3:6:

ヨハネ 1:12 しかし、すべて彼を受け入れた者、すなわち、御名の中へと信じる者に、彼は神の子供たちとなる権威を与えられた。

ヨハネ 1:13 これらの人は血からではなく、肉の意志からでもなく、人の意志からでもなく、神から生まれたのである。

ヨハネ 3:6 肉から生まれるのは肉であり、その霊から生まれるのは霊である。

1. 神・人は、人と神の二つの命、人性と神性の二つの性質を持っています。

2. 神・人は命・人です—— I ヨハネ 5:11-13. ローマ 8:2, 6, 10-11。

I ヨハ 5:11 これが証しです。すなわち、神がわたしたちに永遠の命を与えられ、そしてこの命が彼の御子の中にあるということです。

I ヨハ 5:12 御子を持つ者は命を持っています。神の御子を持たない者は命を持っていません。

I ヨハ 5:13 わたしがこれらの事をあなたがたに、すなわち、神の御子の名の中へと信じているあなたがたに書き送ったのは、あなたがたが永遠の命を持っていることを知るためです。

ローマ 8:2 なぜなら、命の霊の法則が、キリスト・イエスの中で、罪と死の法則から、わたしを解放したからです。

ローマ 8:6 肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。

ローマ 8:10 しかし、キリストがあなたがたの中におられるなら、体は罪のゆえに死んでいても、霊は義のゆえに命です。

ローマ 8:11 そして、イエスを死人の中から復活させた方の霊が、あなたがたの中に住んでいるなら、キリストを死人の中から復活させた方は、あなたがたの中に住んでいる彼の霊を通して、あなたがたの死ぬべき体にも、命を与えてくださいます。

3. 神・人は金・人です——出 25:11. I ペテロ 1:7. 啓 3:18. 21:18 後半。

出 25:11 あなたはそれを純金で覆わなければならない。すなわち内側と外側を覆い、その周りには金の飾り縁を作らなければならない。

I ペテ 1:7 あなたがたの信仰が試されることは、朽ちる金が火によって試されることよりもはるかに尊く、イエス・キリストの出現の時に、賛美と栄光と誉れとなって現れるのです。

啓 3:18 わたしはあなたに勧める。あなたが富むために、火で精錬された金をわたしから買いなさい

啓 21:18 城壁は碧玉で築かれ、都は純金であって、透き通ったガラスのようであった。

D. 神・人は神で構成され、神を彼の命、命の供給、すべてとして持っています。こういうわけで、神・人は人であるが神であり、神であるが人です——エペソ 3:16-17 前半。

エペソ 3:16 どうか御父が、彼の栄光の豊富にしたがい、力をもって、彼の霊を通して、あなたがたを内なる人の中へと増強してくださいますように。

エペソ 3:17 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。またあなたがたが、愛の中に根ざし土台づけられ、

E. 神・人は、新創造であり、キリストの中で神の義です——II コリント 5:17, 21。

II コリ 5:17 ですから、だれでもキリストの中にあるなら、その人は新創造です。古いものは過ぎ去りました。見よ、それらは新しくなりました。

II コリ 5:21 神は罪を知らなかった方を、わたしたちに代わって罪とされました。それは、わたしたちが彼の中で神の義となるためです。

F-I: 神・人の経験、生活

神人は主を愛し、霊を活用し、神の言葉を持つ

F. 神・人は全存在を尽くして、すなわち、心、魂、思い、力を尽くして主を愛します——マルコ 12:30。

マルコ 12:30 心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、主であるあなたの神を愛しなさい。』。

G. 神・人は肉に信頼しないで、自己を否み、霊を活用してキリストを生きます——ピリピ 3:3。マタイ 16:24。I テモテ 4:7。ピリピ 1:21 前半。

ピリピ 3:3 なぜなら、わたしたちこそ割礼の者であり、神の霊によって仕え、キリスト・イエスの中で誇り、肉を頼みとしていないからです。

マタイ 16:24 それから、イエスは弟子たちに言われた、「だれでもわたしについて来たいなら、自分を否み、自分の十字架を負い、わたしに従って来なさい。

I テモ 4:7 しかし、俗悪で、老婆じみた作り話を拒絶し、自分自身を訓練して、敬虔へと至りなさい。

ピリピ 1:21 なぜなら、わたしにとって生きることはキリストであり、死ぬことは益であるからです。

H. 神・人は神の言葉を持つ神の人であり、神の息を吸い込みます——I テモテ 6:11。II テモテ 3:16-17。

I テモ 6:11 しかし、神の人よ、あなたはこれらの事柄から逃れなさい。そして義、敬虔、信仰、愛、忍耐、柔和を追い求めなさい。

II テモ 3:16 聖書はすべて、神の息吹かれたものであり、人を教え、戒め、矯正し、義の中で訓練するのに益があります。

II テモ 3:17 それは、神の人があらゆる良いわざのために十分に装備されて、完全な者になるためです。

神人は、自分が団体的神の一部分であることを認識している

I. 神・人は、自分が独立した個人ではなく、団体的な神・人(キリストのからだ、一人の新しい人)の一部であることを認識しています——I コリント 12:12-13。エペソ 4:16。コロサイ 3:10-11。

I コリ 12:12 それは、体が一つであっても多くの肢体があり、体のすべての肢体が多くあっても一つの体であるように、キリストも同様だからです。

I コリ 12:13 なぜなら、わたしたちはユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、みな一つ霊の中で、一つからだの中へとバプテスマされ、みな一つ霊を飲むようにされたからです。

エペソ 4:16 この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わされ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。

コロ 3:10 新しい人を着たのです。その新しい人は、それを創造された方のかたちにしたがって全き知識へと至るよう、新しくされつつあるのです。

コロ 3:11 その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。

人生の三大問題、答えはすべて神ご自身にある	
人生の意義とは何か	神を表現すること
なぜ苦難・病気・困難に遭うのか	神を得ること
人はどこへ行くのか、 将来の結末と定めは何か	神になること

ヨブ記における解答はパウロの書簡にあります 神が人を創造した目的、神が彼の選びの民を対処する目的、人生の意義	
神を表現する	<p>ピリピ 1:20-21 そこで、わたしの切なる期待と希望は、わたしがどんな事にも恥じることなく、かえっていつものように、<u>あらゆる事で大胆になって、生きるにも死ぬにも、今なおキリストが、わたしの体において大きく表現されることです。</u></p> <p>なぜなら、わたしにとって<u>生きることはキリストであり、死ぬことは益であるから</u>です。</p>
神を得る	<p>ピリピ 3:7 しかし、わたしにとって益であった事柄を、わたしはキリストのゆえに、損失と勘定するようになりました。</p> <p>3:8 しかしさらに、わたしはまた、わたしの主キリスト・イエスを知る知識の卓越性のゆえに、すべての事を損失であると勘定します。その方のゆえに、わたしはすべての事で損失を被りましたが、それらをちりあくと勘定します。それは、<u>わたしがキリストを獲得するためであり、</u></p>
神となる	<p>Ⅱコリ 3:18 しかし、わたしたちはみな、主の栄光をおおいのない顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、<u>主と同じかたちへと徐々に造り変えられて</u>いきますが、それはまさに主なる霊からです。</p> <p>4:16 こういうわけで、わたしたちは落胆しません。それどころか、わたしたちの外なる人が朽ちていっても、わたしたちの内なる人は、<u>日ごとに新しく</u>されています。</p> <p>4:17 なぜなら、わたしたちの受けるつかの間の軽い患難は、ますます<u>卓越した永遠の重い栄光を、わたしたちにもたらす</u>からです。</p>